

平成22年度決算に対する 各会派の意見表明・討論

平成22年度一般会計および6特別会計の各決算を審査するため、今定例会初日に議長を除く全議員により、決算特別委員会(委員長 原ふみこ、副委員長 かつらぎ桜子)を設置し、11日間にわたり慎重かつ厳正な審査を行いました。各会派から出された意見表明・討論の要旨は、次のとおりです。

区民第一主義!! いきいき練馬の実現へ 練馬区議会自由民主党(16人)

平成22年度練馬区一般会計および6特別会計の歳入歳出決算について、認定に賛成の立場から意見表明を行う。

現在の社会経済情勢は、東日本大震災による被災地の復興・復興、原子力発電所事故の影響による電力供給量の大幅な低下や放射能の漏えいなど、わが国がかつて経験したことのない未曾有の問題への迅速な対応が強く求められている。こうした我が国の政治経済情勢の先行きが不透明な中で、区の財政も厳しい状況にある。更なる行政改革の推進および財政の健全化の確保、区内福祉の向上、区内産業の振興、教育の充実を図るべきとの観点から、以下、具体的に要望する。

- 【議会費・総務費】
 - ①更なる行政改革に取り組み、財政基盤の強化を。
 - ②区内事業者の育成と更なる活用を。
 - ③契約案件では区内の業者優先を。
 - ④「としまえん」は、防災の一環として公園整備を
- 【区民費・産業地域振興費】
 - ①不況対策として、産業融資の強化を。
 - ②商店街の装飾灯のLED化を。
 - ③出張所としての機能は残しながら、多くの区民が足を運ぶ地域コミュニティの拠点となる施設へ、名称の改称を含め検討を。その際、中高生の居場所づくりなどについても検討を。
 - ④更なる都市農業の振興を。
- 【保健福祉費】
 - ①介護保険会計の適正な給付を。
 - ②光が丘病院運営の引き継ぎに際しては、区、日本大学および地域医療振興協会が協議を行い、遺漏のないように。
 - ③医療機器の引き継ぎについては、両者納得の上、継続使用できるよう努められた。また、カルテについては電子カルテへ移行しながら引

き継ぎを。④円滑な引き継ぎと運営には患者や地域住民、そして区民の協力が必要不可欠である。不安を解消するよう丁寧な説明会の開催を。⑤来年度、都の保健医療計画の見直しが行われる予定である。区の掲げる新病院整備構想実現のため、必要な病床数の増を確保する。⑥新病院整備用地確保に向け、国・都・有地の活用をはじめ、あらゆる手段を。⑦地域医療計画の策定は、様々な状況を勘案し、新病院構想、既存病院をはじめ区内医療資源の役割などを明確にし、適切な支援を行うこと。高齢社会の進行に伴い、急性期から回復期および、維持期に渡る切れ目のない医療を提供することが重要であり、医療および福祉との連携を計画の中に具体的に進められるよう盛り込まれたい。

【児童青少年費・環境清掃費】
①保育所の運営委託化をより一層進められたい。②効率的な行政運営、サービス水準の向上を実現するために児童クラブ・児童館の民間委託を。③ねりまキッズ安心メールの更なる周知を図り、利用率の向上を。また、児童クラブのみの使用ではなく、児童館や放課後ひろば事業などにも活用を。④地球温暖化防止対策設備など補助事業の増額を。⑤みどり推進計画の観点からも、緑の保全のため、樹林地の取得に向けた対策を。
【都市整備費・土木費】
①大江戸線延伸に向け、東京



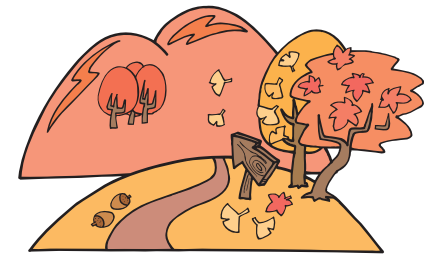
防災対策の強化で、区民の安全安心を守れ 練馬区議会公明党(12人)

平成22年度一般会計・6特別会計歳入歳出決算について、賛成の立場から意見表明をする。東日本大震災を契機として震災対策など財政需要の増大が見込まれ、区の財政は厳しさを増すものと予想される。今後とも、財政の健全性を維持向上するため、財源の確保に努めると共に、引き続き行財政改革を推進し、効率的、効果的な財政運営を要望する。

- 【議会費・総務費】
 - ①美術館で障害者による展示会を。
 - ②日銀運動場整備見直しを。
 - ③被災者支援システムの導入を。
 - ④医療救護所等の周知や人工透析病院等の水の供給体制整備と発電機設置助成を。
 - ⑤ねりま動画発信を。
 - ⑥防災無線のデジタル化を。
 - ⑦公共事業は分割発注。入札は区内と準区内業者と区別を。
 - ⑧期日前投票所増設を。
 - ⑨井戸活用を。
- 【区民費・産業地域振興費】
 - ①地域集会所のバリアフリー化を。
 - ②ねりま商品券継続販売を。
 - ③区民事務所等を地域力アップ拠点に。人材育成を。
 - ④自動交付機増設とコンビニ設置を。
 - ⑤アニメ産業と教育の連携事業の周知と研修等を。
 - ⑥ねりまキャラクターグッズ販売を。
 - ⑦農の学校等様々な援農、最新農業技術開発を。
- 【保健福祉費】
 - ①ケアホーム等の整備を。
 - ②特養ホーム計画前倒しを。
 - ③出張調髪券拡充を。
 - ④高齢者いきいき健康事業の継続とメニュー拡充を。
 - ⑤子宮頸がん予防ワクチン効果周知、接種率向上を。
 - ⑥MR麻疹、風疹ワクチン等予防接種向上と麻疹排除計画達成を。
 - ⑦日大後継医療機関の機

能継続と病床確保等議会へ報告を。⑧大震災を教訓に海抜高度が23区で高く地盤が固い練馬区へ病院誘致の主張を。
【児童青少年費・環境清掃費】
①子育てスタート応援券事業拡充を。②病児保育施設拡充と対象周知を。③児童虐待防止対策の24時間電話相談等を要保護児童台帳のシステム化。④児童クラブ時間延長と学校応援団連携で校内に全児童体制整備を。⑤ねりまキッズ安心メールを学校応援団に拡大を。⑥古紙回収時間を1時間前倒しを。⑦集団回収の単価アップを。⑧小型家電回収ボックス拠点拡大とねりま動画でPRを。⑨資源循環センターへの粗大ゴミ持込無料化。⑩苗木配布拡大を。⑪みどりのカーテン事業等継続を。

【都市整備費】
①耐震診断の予算増額、耐震工事助成対象周知を。②特定緊急輸送道路沿道建物の耐震化延長要望を。③生け垣化助成や塀建替費雑損控除申請等周知を。④節電した街路灯等の電気料金返還を。⑤省エネ型街路灯計画前倒しを。⑥ゲリラ豪雨被害解消に旧土木出張所活用を。⑦改測作業は地元測量業者を。⑧自転車ルールやマナー周知を。⑨3人乗り自転車就学前まで利用に。⑩石神井公園駅高架下に自転車駐車場を。
【教育費】
①中学校選択制の検証を。②給食事務の臨時職員配置を。③スクールソーシャルワーカーを各教育相談室等に配置を。④全小中学校に太陽光発電を。⑤図書館にDVDや電子図書等を。サビエ図



※サビエ図書館：全国の団体・図書館等が加盟する、点字図書や録音図書の書誌データベース。

いのちを守る放射能対策を迅速に
生活者ネット・市民の声・ふくしフォーラム(5人)

原発事故対応は危機感がなく不十分。震災後、社会のあり方は転換が必要、道路やハコモノ建設を見直せ。①男女共同参画の啓発事業は区民と連携、協力して実施せよ。②閑越高架下の高齢者センター等を建設する計画は白紙に。③災害時のボランティア受入れの課題に具体的な対策を。避難所運営に女性の視点を生かす活動は日常的に取り組め。④西武新宿線沿線に区民事務所を配置し、中核的区立施設の全区的なバランスを。⑤区内農産物の放射性物質を土壌、堆肥と共に独自に検査せよ。学校給食の食材も測定すべき。⑥内部・外部被曝の合計が年間1ミリシーベルト以下となる独自指針を設けよ。⑦協議会を開催し、医療と介護の連携を進めよ。⑧在宅療養支援診療所を機能させるために診療所、病院との連携を進める働きかけを。⑨生活保護は権利を守る視点で適正な運用を。⑩日大光が丘病院の引継ぎは医療機能が低下しないよう、責任を持って対応し、積極的な情報公開を。⑪経費削減を目的とした児童館、保育園、学童クラブの委託、指定管理者の導入を止めよ。⑫子どもを支援する部署は教育委員会事務局に入れず、別組織での連携強化を。⑬区内すべての保育園・学校・公園等で放射線量を継続測定せよ。⑭モニタリングポストの設置を。⑮製品プラスチックも資源として回収せよ。⑯被災地のがれき受入れは区民に十分な説明を。⑰外環地上部街路を前提としたまちづくりの議論は中止に。⑱大二中を分断する道路は再検討を。⑲学校の給食調理室でせっけん利用100%を目指せ。⑳区立幼稚園適正配置計画案は保護者意見を踏まえて再検討を。㉑国保料の負担軽減は、継続・拡充を。資格証発行は慎重に。㉒介護保険は支給限度額を引上げ、利用者負担を軽減して、在宅サービスの利用促進を。



決算特別委員会

一般会計、国保会計、介護保険会計、後期高齢者医療会計の4決算に反対する。反対理由の第一は、「構造改革」路線では、大震災から国民のくらし、命を守れないことは明らかで、それに基づいた「行革」方針、「長期計画」実行の決算となっている。第二は、国保料滞納者増で資格証を多発、高齢者への自己負担導入、障害者分野の予算執行率が低いなど、区民福祉の増進となっていない。第三は、大泉学園駅北口、大二中分断の道路整備計画など、住民合意のない開発優先予算は推進している。

開発優先あらため、福祉・防災のまち練馬を
日本共産党練馬区議団(4人)

区民の深刻な実態に即し、区に対し住民福祉の機関を求めめる立場から、以下要望する。①公契約条例策定し労働環境改善を。②地域防災計画、防災協定の拡充強化を。③都市農地の固定資産税・都市計画税軽減など国に求めよ。防災井戸の普及・助成を。④日大光が丘の医療空白招かず水準確保を。⑤保育園・学童クラブの新増設を。⑥放射線測定場所・回数を増やせ。⑦区立施設へ自然エネルギー導入を。⑧耐震化すすめ、住宅リフォーム助成の実施を。⑨外環本線・地上部街路計画は見直せ。⑩特養の待機者解消を。

みんなが主役のねりま区政を!!
練馬区議会みんなの党(3人)

平成22年度各会計決算を認定。【総務費】①防災計画の早急な見直しを。②特定規模電力事業者の活用で電力コスト削減を。③都のとしまえん買取情報の継続収集を。【産業地域振興費】①プレミアム付商品券の震災復興目的記載を。②アニメ振興のため区立美術館の有効活用を。③区民農園等の充実で緑被率向上を。【保健福祉費】①光が丘新病院の円滑な引き継ぎと医療水準の維持を。②父子家庭の支援充実を。【児童青少年費・

行政決定押しつけてなく区民生活防衛優先を
練馬区議会日本共産党(1人)

円高と不況、大震災による困難から区民を守るべきだが、今決算に大きな欠陥があった。①区政の主人公である区民の声を聞かず、閑越高架下利用や大二中を分断する道路計画など、行政決定を押しつけ。②外環道、駅周辺再開発、沿道周辺再開発など、大型開発優先し、区民施策を後退。③職員削減先により必要で必要困難から区民を守るべきだが、な区民サービスが後退。④委託・民営化で官製ワーキングプアの増大を招いた。⑤医療過疎練馬の解消や震災から区民を守る課題を怠った。⑥国・都による悪政を区民に押しつけ区政の変質を進めた。深刻さを増す区民生活防衛に全力を傾ける区政に転換せよ。

日大光が丘病院の後継公募選定は談合不正か
オンブズマン練馬(1人)

突然の日大撤退で後継医療の選定が行われ公募前5月の予測通り地域医療振興協会に決定した。入札相手の大和会東大和病院には練馬に必要な小児科も産科もない。協会の会長と相手理事は共に自治医科大の学長と名誉教授という間柄だ。大和会は入札当て馬であり不正談合入札か。過去の病院選定でも不正経過があった。順天堂練馬病院誘致で活躍の副区長が突然辞めると病院問題が起き、多くの任期を残して教育長が辞めると多数校舎の耐震検査届など建築完了届不存在的な不正が明らかになった。自治体行政上考えられない不正事件であるが単なる瑕疵であると反省が無い。

しがらみ・旧弊に囚われはならぬ
練馬区議会無所属(1人)

平成22年度一般会計および各特別会計の歳入歳出決算について、認定に賛成の立場から意見表明を行う。①政策・業績評価の本格導入を。②生活保護制度の抜本改正を国に訴えよ。③余暇関連事業は順次縮小すべし。④特定健康診査の受診率向上を。⑤幼稚園・保育園など、未就学児一人当たり要する税額の平準化を。⑥学級崩壊の現状把握と的確な指導を。⑦公共施設の建設にかかわる長期的な財政見通しを明確にすべし。

未来のために、財政運営の健全化を
練馬刷新の会(1人)

各会計決算に賛成の立場から意見表明を行う。しかし、財政について、今後は震災対策や高齢化に伴う扶助費の増

平成22年度決算に対する各会派の態度

Table with columns for Party Name (会派名), Party (党), and Results (結果) for various budget items. Legend: ○:賛成, ×:反対. Total members: 16 (賛成) + 12 (反対) = 28. Excludes 1 member from the ruling party.

議会Q&A

Q 決算の認定とはどういうことですか?

A 予算が一会計年度における収入、支出の見積もりであるのに対し、決算は、収入、支出の実績であり、結果です。決算の認定とは、予算がどのように使われて、どのような成果をあげたかを住民の立場に立って審議し、判定することです。これは、予算の議決権に対応する議会の大事な権限でもあります。議会が不認定としても法的にはその効力に影響はありません。ただし、地方自治法の規定により、区長は都知事に報告するとともに、住民に議会が認定しなかった旨を公表する必要があります。

加等、財政需要が予測されるため、財政を健全化しておく必要がある。そのために、緊急で行う必要のある施策か、選別を更に進める様に要望する。①各避難拠点で確保している備蓄食料が1日分という現状に再検討を。②一部の生活保護受給者の不当利得を防止する施策の創設を。③商店街の空き店舗対策の拡充を。④練馬区全体の需要喚起に繋がるプレミアム付商品券以外にも、個別の商店街への振興策を。⑤公立小中学校で、応用も学びたい児童へ対応を。